

科目	作業療法学特論Ⅰ	担当	竹田 徳則	履修学年	3年
時間数	90分×時限×8回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

**【授業目標・到達目標】**

作業療法学特論Ⅰでは、臨床実習協力病院・施設において、臨床実習指導者または教員の指導のもとで、見学と作業療法評価や治療・訓練などの体験実習を行う。この体験を通じて知識・技術の確認を行うとともに作業療法の役割を理解する。そして今後、各学生が取り組むべき課題を明確にすることを目的とする。

**【履修注意】**

臨床実習Ⅱ・Ⅲに関連する科目であるため、全員が履修することが望ましい。  
3年生前期試験終了後、身体分野施設で1日間の実習を行う。実習に先立ち、社会人としてのマナーや臨床での心構えに関する学内講義・演習を行う。さらに、履修者全員が実習終了後、臨床実習Ⅱ、臨床実習Ⅲに向けて取り組むべき課題を共有するための学内セミナーを開催し、複数教員が指導を行う。本科目では、これまで習得した知識と技術を応用できるように積極的な姿勢で取り組むことが必要である。

**【評価方法】**

学内講義・演習と実習での取り組みを総合して評価を行う。  
全日数出席が原則である。総合計時間数の1/5以上の欠席は、評定不能となる。

**【試験について】**

試験は行わない。再試験も行わない

**【予習・復習】**

**【教科書】**

これまで講義で使用した身体障害領域で必要となる専門基礎および専門科目の教科書等(購入済み)

**【参考書】**

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	実習オリエンテーション	実習の心構え・社会マナー・職業倫理
2	作業療法士の心得	多職種チーム医療での作業療法士の課題
3	検査・測定実習	知識・技術の確認
4	作業療法の実際①	病院・施設実習・作業療法体験
5	作業療法の実際②	病院・施設実習・作業療法体験
6	作業療法の実際③	病院・施設実習・作業療法体験
7	作業療法の実際④	病院・施設実習・作業療法体験
8	実習後セミナー	実習振り返り・各自が取り組むべき課題・今後の計画立案
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		